

H25-1

(1) 任意のベクトル  $y \in \mathbb{R}^n$  に対して、

$y^T (xx^T) y = (x^T y)^2 \geq 0$  より、 $xx^T$  は半正定値の定義を満たす。

(2)

$A$  の固有値は、問題文の命題より、重複を含めて、 $\lambda_1, \lambda_2, \dots, \lambda_n$  (全て非負) とおける。

$B = U \text{diag}(\sqrt{\lambda_1}, \sqrt{\lambda_2}, \dots, \sqrt{\lambda_n}) U^T$  とおくと、 $A = B^2$  になっている。

$B$  を変形して、

$$BU = U \text{diag}(\sqrt{\lambda_1}, \sqrt{\lambda_2}, \dots, \sqrt{\lambda_n})$$

$$(b_1 u_1 \ b_2 u_2 \ \dots \ b_n u_n) = (\sqrt{\lambda_1} u_1 \ \sqrt{\lambda_2} u_2 \ \dots \ \sqrt{\lambda_n} u_n)$$

$$b_i u_i = \sqrt{\lambda_i} u_i \quad (i=1, 2, \dots, n)$$

より、 $\sqrt{\lambda_i}$  ( $i=1, 2, \dots, n$ ) は、 $B$  の非負の固有値であり、 $B$  は明らかに対称行列なので、問題文の命題より、 $B$  は半正定値である。

(3) (1) より、 $\forall x \in \mathbb{R}^n$  に対して、 $(xx^T)_{ij} = x_i x_j$  であり、明らかに対称行列なので、

$$0 \leq \langle A, xx^T \rangle = \sum_{i,j} a_{ij} (xx^T)_{ij} = \sum_{i,j} a_{ij} x_i x_j = x^T A x$$

従って、 $A$  は半正定値となる。

(4) (2) より、

$\exists B$ : 半正定値対称 s.t.  $A = B^2$

$\forall X$ : 半正定値対称行列に対して、

$\exists Y$ : 半正定値対称 s.t.  $X = Y^2$

$$\langle A, X \rangle = \sum_{i,j} a_{ij} x_{ij} = \sum_{i,j} \left( \sum_k b_{ik} b_{kj} \right) \left( \sum_l y_{il} y_{lj} \right) = \sum_{i,j} \sum_k \sum_l (b_{ik} y_{il}) (b_{kj} y_{jl})$$

$$= \sum_{k,l} \left( \sum_i b_{ik} y_{il} \right) \left( \sum_j b_{jk} y_{jl} \right)$$

$$= \sum_{k,l} \left( \sum_i b_{ik} y_{il} \right)^2$$

$$\geq 0$$